

『風は南から』

令和6年度 校長室便り
(1月29日)(第21号)



自分の能力を生かす能力とは？

先日、日本人として初めてアメリカ野球の殿堂入りを果たしたイチローさんは、コメントの中で「僕なんかもうとても比較にならないぐらい才能にあふれた人がいっぱいいます。でもそれを生かすも殺すも自分自身だということです。自分の能力を生かす能力はまた別にあるということは知っておいてほしい」と言っています。「自分の能力を生かす能力」とはいったい何を指しているのでしょうか？

殿堂入りの発表がある前日も球場で練習して汗を流し、いつもと変わらない生活を送っていたそうです。イチローさんにはルーティーンがあることは有名ですが、別なインタビューでは、「小さなことを積み重ねることがとんでもないところへ行く唯一の道」とも言っています。小さくとも自分で設定した目標を一つひとつクリアして満足していくことが、自分の能力を生かす近道だと言っているのではないのでしょうか？

商業科「課題研究」発表会・進路報告会



1月24日(金)5・6校時に商業科1・2年生に対して3年生による「課題研究」発表会並びに進路報告会が行われました。

これまで「課題研究」の授業で取り組んできた調査研究や作品製作について班ごとに発表し、進路報告会では、代表者が進路を決定するまでの経緯や思いを語りました。最後に、「島旅プランコンテスト」で最優秀賞を受賞した班のプレゼンテーションがありました。普通科とは異なり、授業を通して地域と密接に連携した活動ができるのが商業科の魅力でもあります。1・2年生が3年時の授業や進路について理解を深める良い機会となりました。

共通テストお疲れ様でした！



1月18・19日に大島高校で行われた「大学入学共通テスト」に3年普通科22名が受験してきました。

16日(木)飛行機で行き、17日(金)試験会場の下見、18(土)・19日(日)受験、そして夜に自己採点、20日(月)船で帰島という大変ハードな日程で頑張ってくれました。今回は新課程

になり初めての入試で、国語と数学が10分延長されたり、教科「情報」が加わったりと過去問で対策ができず、なかなか予想困難な試験で不安や苦労も多かったと思います。

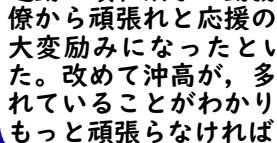
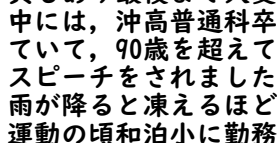
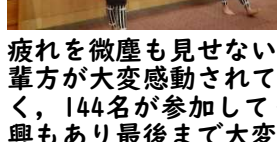
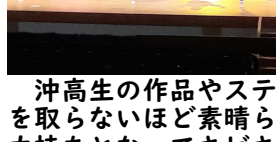
これから私大入試が始まり、2月25日の国公立大学の前期試験、その後の中期・後期試験と続きます。3年生の皆さん、もう少しの辛抱です。自分を信じて最後まで諦めず、自分の進路実現に向けて頑張ってくださいね。冲高は、皆さんの努力を最後まで応援しています。

「大丈夫あなたが夢を追ふあひだ

私はずっと追ひ風である」

(岡山県 西江 涼帆)「令和7年歌会始選歌より」

第34回大島地区高等学校総合文化祭

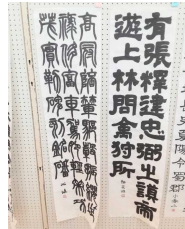


1月22日から23日にかけて、奄美市川商ホールにて、第34回大島地区高等学校文化祭が開催され、吹奏楽部・書道部・エイサー部が参加しました。

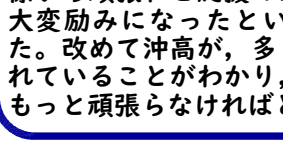
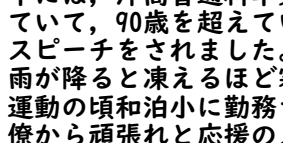
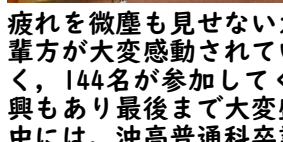
22日は書道部の揮毫大会と美術部の講習会、23日はステージ発表と作品鑑賞という日程でした。本年度は、冲高と大島北高校が当番校だったので、自分たちの出番はもちろん、ステージの司会や楽器の出し入れや片付け等、裏方としても冲高生は活躍していました。

大島地区のどの学校も、普段は少ない人数で活動している部が多いようですが、この2日間は同じ道を志す多くの仲間と一緒に活動することで親睦を図ることができ、大変よかったという感想を聞きました。最後は、吹奏楽部の全員合奏に合わせて「365日の紙飛行機」を斉唱し、感動のうちに幕を閉じました。

冲高生の作品やステージ発表は、他の学校に引けを取らないほど素晴らしいものでしたが、縁の下での力持ちとなってキビキビと作業する姿を見て、私は大変誇りに思いました。参加した皆さん、本当にご苦勞様でした。



令和7年冲高同窓会総会・懇親会



1月25日(土)フローラルホテルにて「令和7年冲高同窓会総会・懇親会」が盛大に開催されました。総会が終わり、懇親会が始まる前にエイサー部が2曲演舞を披露し、華を添えてくれました。大島地区総文祭の疲れを微塵も見せない力強く堂々とした発表で、先輩方が大変感動されていました。今年は昨年より多く、144名が参加してくださり、歌やバンド等の余興もあり最後まで大変盛り上がりしました。参加者の中には、冲高普通科卒業1回生の大先輩も参加されていて、90歳を超えているとは思えない力強い声でスピーチをされました。開校当時、茅葺きの校舎で雨が降ると凍えるほど寒かったことや奄美群島復帰運動の頃泊小に勤務されていて、県内の多くの同僚から頑張れと応援のメッセージをもらい、それが大変励みになったというエピソードを話されました。改めて冲高が、多くの同窓生から愛され支援されていることがわかり、その激励に対して私たちももっと頑張らなければと決意を新たにしました。